

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第244号	
事故等種類	養殖施設損傷	
発生日時	平成22年11月21日（日） 11時10分ごろ	
発生場所	千葉県富津市富津岬北西方沖 第2海堡 ^{かいぼ} 灯台から真方位067° 3,150m付近 (概位 北緯35° 19.4' 東経139° 46.4')	
事故等調査の経過	平成22年12月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート ^{オーシャンツウ} Ocean2、3.8トン	
船舶番号、船舶所有者等	235-47352東京、株式会社ファーストポート	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	のり網、浮子網及びロープの切損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が、1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、東京湾周遊のため、富津岬北西方沖を約18ノットの速力で手動操舵により航行中、第2海堡の東方沖を南進する予定であったが、第1海堡を第2海堡と思い、第1海堡の東方沖へ向けて南進し、平成22年11月21日11時10分ごろ富津岬北西方沖の養殖施設（のり網）に進入した。</p> <p>本船には、GPSプロッターが搭載されていたが、船長は、GPSプロッターを活用せず、物標を目視することにより、船位を確認していた。</p> <p>本船は、プロペラ軸にのり網が巻き付いており、漁船の乗組員により巻き付いたのり網が切断され、漁船により富津市富津漁港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約1m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、富津岬北西方沖を南進中、船長が、GPSプロッターを活用せず、物標を目視することにより船位を確認したことから、第1海堡を第2海堡と思い込み、第1海堡の東方沖に向けて南進し、のり養殖施設に進入して同施設を損傷したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、富津岬北西方沖を南進中、船長が、物標を目視することにより船位を確認したため、第1海堡を第2海堡と思い込み、第1海堡の東方沖に向けて南進し、のり養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	